平成17年観光客動態調査結果について

平成17年における観光客動向

平成17年(1月~12月)における本県の観光客数は23,828千人で、前年に比べ569千人の増加(対前年比+2.4%)となり、2年連続の増加となった。

〔主な増加市町村〕

市町村	増加	対前年比	主 な 要 因
下 関 市	815	+ 15.7	大河ドラマ「義経」の放映、合併による観光資源の多様化
山口市	303	+ 11.0	道の駅「きらら あじす」のオープン効果
山陽小野田市	159	+ 34.5	「みちしお温泉」のオープン効果(平成16年5月オ・ブン)

[市町村は平成17年12月31日現在]

(単位:千人、%)

(単位:千人、%)

〔主な減少市町村〕

	市	町	村	減少	対前年比	主 な 要 因
	岩	国 市 62		620	20.1	桜開花の遅れ、台風14号による災害の影響
	美	和	町	90	40.6	台風14号のほか、天候による影響
	周防大島町		52	6.4	海水浴客の減	

[市町村は平成17年12月31日現在]

県外・県内別観光客の動向(3、4ページ参照)

・県外客数は11,619千人で、「愛・地球博」の開催、台風14号による 災害の影響等があったものの、前年に比べ36千人(対前年比 0.3%)の微減となっている。

地域別には、関東、近畿、北海道・東北、中部等からの県外客は増加しているが、中国、九州・沖縄、四国からの県外客は、減少している。

・県内客数は12,209千人で、山口市の道の駅「きらら あじす」(平成17年3月オープン)、下関市の道の駅「蛍街道西ノ市」や「西ノ市温泉」(両施設とも平成16年12月オープン)等の新たな施設のオープン効果により、前年に比べ605千人(対前年比+5.2%)の増加となっている。

日帰り・宿泊別観光客の動向(3、4ページ参照)

- ・日帰り客数は20,312千人で、前年に比べ713千人(対前年比+3.6%)の増加となっている。
- ・宿泊客数は3,516千人で、前年に比べ143千人(対前年比 3.9%)の 減少となっている。

詳細は別紙「平成17年山口県観光客動態調査結果資料」のとおり

【山口県における過去10年間の観光客数】

(単位:千人、%)

年	観光客数	前年対比	H8年基準	特 記 事 項
8	24,104	105.3	100.0	大型観光施設の オーフ ゜ン、大島大橋無料化、 〇-157
9	23,965	99.4	99.4	毛利元就キャンへ。一ン、夏場の天候不順
1 0	22,110	92.3	91.7	明石大橋開通、景気低迷、サビ゛エル記念聖堂再建
1 1	21,051	95.2	87.3	しまなみ海道開通、景気低迷、夏場の天候不順
1 2	21,231	100.9	88.1	角島大橋開通、秋吉台エコミュージアム、好天候
1 3	25,504	120.1	105.8	大型観光キャンへ。一ン実施(7月~9月)、山口きらら博の開催、「海響館」のオープン
1 4	22,862	89.6	94.9	首都圏・九州観光キャンへ。一ン開始、錦帯橋の架け替え、冠山総合公園オープン、ダブルトラック化
1 5	22,849	99.9	94.8	大河ドラマ「武蔵」の放映、錦帯橋の架け替え、金子みすゞ記念館オープン、のぞみ停車
1 6	23,258	101.8	96.5	錦帯橋の架け替え完了、秋の行楽シーズン時の悪天候
1 7	23,828	102.4	98.9	合併による観光資源の多様化、愛・地球博開催、大河ドラマ「義経」の放映、台風14号による災害

注)記載数値については、四捨五入のため計数が一致しない場合がある。

